

# 琉球大学学術リポジトリ

## 1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897</a>

c

c

60

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

69年4月30日0時15分 米 着  
 69年4月30日14時57分 本省 着 米 着  
 外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題（キツシンジャー補さ官及びパツカード次官との会談）

第1302号 特秘 至急

往電第1298号に関し

29日午後トウゴウ局長はホワイトハウスにキツシンジャー特別補さ官及び国防省にパツカード次官を往訪。要旨次の通り会談した趣（木内同行）

1. キツシンジャー特別補さ官（スナイダー補さ官同席）

キツシンジャーはベトナム問題に多大の関心を示し、日本の指導者が本件問題についてなぜに米国の立場を公けに支持しないのかの点を含め当方の意見を求めたのに対しては国会答弁等に言及しつつしかるべく応しゆうしおいた。他方、先方は先般の米機撃つい事件について米国としてはもつと強こうにリアクトすべきであつたかどうかとたづねたのに対しては、当方より米国がこのようにして北鮮にあしらわれるのは自由諸国のために採らず、リーゾナブルに対

外務省

大政審員官  
 務務 房  
 次次  
 臣官官審審長  
 候書文会官給  
 送人電厚計  
 参閣析  
 参領旅務

北京盤  
 中盤  
 参一  
 参二  
 参西東洋  
 西東

参書近ア  
 次総経国万  
 参領統  
 参政技二  
 国一  
 参余協規  
 参政経科  
 厚社専  
 参運内外

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

応できるならぜひそうすべきであらうと述べた。オキナワ返かん問題については「キ」は、自分のオフィスにおいて有能な極東問題通であるスナイダーからたえずブリーフされているので、ある程度は問題点を承知するにいたつたと前置きの上、オキナワは日本だけの問題ではなく、アジアの自由諸国全体にとつての関心事であるところ、これら自由諸国の利益のためオキナワに核を持ち込むことはできないのか、緊急のときに使うということではよめることではきついか、あるいは有事持込みということではゆけないのかたんと直入に聞いて来た。右に対し当方より、自由諸国の安全については日本側としてもじゆう分に考えているところであるが、核付きということは日本にとつて極めて難しいことであり、また有事持込みも大変に困難なる旨強調しおいた。それでは自由使用はどうかと「キ」がただしたのに対し、緊急事の場合の戦術作戦行動については日本側としてもさらに検討する必要ありと考えているが、現行の安保条約を改正することなくそのわく内で、すなわち新たな交換公文等を取りかわすようなことなして解決しなければならぬというのが日本政府の立場である旨述べておいた。「キ」はそれでは自由使用の問題解決についてなんらかのふく案が日本側にあるのかとたづねたのに対し、それは総領訪米までの今後るか月間において日米そう方で検討したいと思つていことがらである旨説明しお

外務省

特

特

注意

電信写

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

いた。「キ」は、オキナワ問題がクルージュアルなものであることは承知しており、あらゆる配慮をつくしてそう方にとり妥当な結論に到達したいと思つている。当面は本件をどのようにして解決し得るかについての明確な意見はたれも持ち合せていない。しかし先般の米機撃つ事件に対応するに際してはオキナワの基地を度外視しては対応できなかつたであろうことははつきりいえる。オキナワ問題は日本例にとつてもそうであるように極めてやつかいな問題である。しかし自分は日本がアジアにおける主要な国であり、日米友好関係が重要であるとの強い確信をいだいており、オキナワ問題の効果的解決にはできるだけのこととしたいと述べた。最後に日米合同委開催の際訪日しないのかとたづねたのに対し、「キ」は7月下じゆんに予定されている本件会合には自分もぜひ出席したいと思つているが、主要関係が不底のとき大統領のそばから離れるわけにはゆかないので、スナイダーが出席することになる。しかしいづれ自分が外国を訪問するとすれば日本であると考えており、その際韓国もどいてみたいと思つている旨述べた。なお別室においてスナイダー補佐官は、明30日大統領の下でオキナワを討議するためのNBOを開催することになつている旨述べていた（本件は午さんの際ジョンソン次官よりも言及するところがあつたが、NBOで発表せざる限り及にせざるよう特に要望あり）

外務省

極秘

特

注意

電信写

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

2. パツカード国防次官

当方より、今次訪米は6月初じゆんにアイチ大臣が、次いで7/1月以降にはサトウ総理が訪米される予定になつているところ、アイチ大臣はレアード国防長官とも会談されることとなるべく、その下準備を目的とする旨説明。すなわち、67年11月にサトウ総理は訪米してジョンソン大統領とオキナワを返かんする目的の段に継続的に日米が検討する旨約束し合つたが、その後余り実質的進展がみられないところ、オキナワ返かん問題は緊急事であり、日米両方が円満に解決すべきことである旨述べた。右に対し「パ」次官は、オキナワ問題については多少承知するにいたつており、米側としては自由諸国に対するコミットメントにかんがみ、オキナワがアジアの紛争に対し主要なよく止力としての効果を発せし続けることを期待するものであると述べた。当方より、日本も他のアジア諸国同様米国のアジアにおけるプレゼンスがかん要であることはつとに同感であるが、当方より米側に提示したポジションペーパーの通り核が存置されることはこまる。日本側としては核のちよ蔵が果して必要なかどうか米側の見解を承知したいと思つている。また、オキナワ返かんが現行の安保体制のわく内で、すなわち、新たな条約取極の締結を要することなく解決を期待するものである旨説明した。「パ」は、日本側

(4)

外務省

極秘

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

民の気持はわかるが、オキナワの地盤も安全上重要であり、また、日本が自由主義じん管に属しているのだからオキナワ問題を解決することと米國がアジアにおける自由諸國に対する防衛責務を全うすることの間にはむじゆんはないと考える。日本側ポジションペーパーは早速検討したいと思つている。6月には訪韓(当館注。米韓国防長官定期会議出席のためと認められる)する予定であり、その際オキナワにも立ち寄りたいと述べた。当方より、訪韓の際はぜひ訪日されるよう要望しておいたのに対し、「バ」は過去に数回訪日しており、日本はなじみのある國であり、そつちしたいと思つている旨述べていた。

英に転電した

(3)

(5)